



群馬ビルメン ニュース



2012
No 27
新年号

作：関 健造『赤城山』



平成 24 年 1 月 1 日発行

社団法人 群馬県ビルメンテナンス協会



年頭のごあいさつ

(社)群馬県ビルメンテナンス協会
会長 村田 茂行

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年 5 月に、会員皆様のご協力と多くの皆様のご支援により、待望の「群馬県ビルメンテナンス会館」が完成することができました。あらためて心より感謝申し上げます。

会館ができたことにより、各種研修会、会議等積極的に開催し便利に活用しています。6 月には、全国ビルクリーニング技能競技会群馬県予選会、その後、清掃作業従事者研修、シニアワークプログラム・オフィスクリーニング研修会を実施。8 月 2 日から 10 月 27 日まで、3 カ月間に亘るビル設備科研修会と毎日のように活用し、群馬県のビルメンテナンス業の知識、技術の発信基地として大いにその役割を果たしております。

また、6 月に赤城山で行われた春の環境美化運動、10 月の安全衛生大会では、青年部が中心となり、どちらも 150 名程の方にご協力頂き、大いに盛り上がり群馬県ビルメンテナンス協会の結束力を見せて頂きました。

4 年前に、発足した障害者就労支援委員会も清掃部会と協力し、高等養護学校（特別支援学校）の先生方への清掃作業研修も恒例化し、アビリンピック群馬県大会（障害者技能競技会）も新たにビルクリーニングの競技ができて、2 回実施しました。2 月 5 日（日）には、3 回目の大会が行われます。各養護学校での研修も行いながら、就労支援に力を注いで行きたいと思っております。ご協力よろしくお願い致します。

いよいよ、今年は、一般社団法人の申請を行います。群馬県ビルメンテナンス協会の新たなスタートの年となります。より地域に密着した、より群馬らしく、更なる発展を目指して行きたいと考えています。

結びに、会員皆様とご支援を頂いている皆様のご発展とご健勝を祈念申しあげ、新年のごあいさつとさせていただきます。



新年のごあいさつ

群馬県ビルメンテナンス協同組合
理事長 永井 克弘

新年あけましておめでとうございます。皆様には新しい年を清々しい心で迎えられたこととお察し申し上げます。

日頃より協同組合のために、ご協力をいただき、感謝にたえません。新しい年を迎えられ、また昨年にも増して、一層のご助力を頂けますようお願い致します所存でございます。

思えば、悪夢の昨年でございました。漸く景気の回復基調が見え始めたと思いきや突然の災害に見舞われ、と同時に原発に追い打ちをかけられました。遠くに離れていた当県さえ、激しい揺れ、その後の放射能災害は人々の心を震撼させ、身も心も打ち砕かれた時期でした。政治の対応が遅れ、復旧、復興が思うようにいかない状態が続きました。少しずつ、復興の途に着きつつありますが、災害に遭われた方々の想いを察するにあまりある昨今です。

そんな中、永年の懸案でありました、会館建設に踏み切り、完成に至りました事は、まさに記念すべき出来事でした。着工中に災害に見舞われ、続行の決断を致しましたが、これは先人の想いを達成するために、苦難の道を経て造り上げられたものであります。今後協会がビルメンテナンス業に携わる者のために、有効に活用していかなければならない重い使命を与えられたものと理解致します。その為に協同組合は協会の両輪としての役目を果たしていきたいと心に念じております。会員の皆様には多くのご尽力をいただき、完成に至りました事は、改めて感謝申し上げますとともに、どうか自分の会館だという想いで、どしどし有効に活用していただければ幸いです。

協会は大きな使命をもって出発いたしました。協同組合も共有し合い、皆様の御力をお借りしながら、協同組合運営に全力を傾注していきたいと思っておりますので、昨年に倍しましてのご協力をお願い申し上げ、新年の挨拶にかえさせていただきます。

平成24年龍年が会員の皆様にとりまして、苦難を超え、明るい年でありますよう、御祈り致します。ありがとうございました。（合掌）

※永井理事長は平成23年度群馬県功労者表彰を受賞されました。

事業報告

【各種講習会】

8月26日	積算見積り研修会	参加者数	17名
9月13日	清掃作業従事者研修会	参加者数	29名
9月30日	企業講師研修会	参加者数	22名
11月 8日	清掃作業従事者研修会 太田商工会議所	参加者数	14名
12月 5日	ビルクリーニング技能検定試験受験準備講習会	参加者数	11名
2月17日	防除作業従事者研修会	開催予定	
2月17日	貯水槽清掃作業従事者研修会	開催予定	

清掃作業従事者研修会カリキュラム

9:00 ～ 清掃の目的・従事者心構え
 10:00 ～ 作業の安全と衛生
 11:00 ～ ビル清掃の基本作業Ⅰ
 13:00 ～ ビル清掃の基本作業Ⅱ
 14:40 ～ 清掃作業技術研修
 16:30 ～ 理解度テスト

企業講師研修カリキュラム

9:00 ～ 建築物衛生法について
 10:00 ～ 作業の安全と衛生
 11:00 ～ 従事者研修の進め方
 13:00 ～ 清掃作業技術Ⅰ品質評価
 14:40 ～ 清掃作業技術Ⅱ
 16:30 ～ 理解度テスト

【シニアワークプログラム事業】

オフィスクリーニング講習	前橋会場	6月20日～6月30日	受講者数:21名
オフィスクリーニング講習	桐生会場	8月29日～9月 8日	受講者数:18名
オフィスクリーニング講習	高崎会場	10月25日～11月 8日	受講者数:17名
オフィスクリーニング講習	太田会場	11月28日～12月 8日	受講者数:20名
介護家事支援・移送講習会		9月20日	受講者数:10名
ホテルスタッフ講習会		12月 2日・5日・6日	受講者数:13名

【ビル設備管理者育成科委託訓練】

高崎産業技術専門学校より委託 8月 2日～10月27日 受講生 17名



【その他事業】

6月 9日	GBK 杯ゴルフ大会 赤城国際 CC	参加者	20 名
6月 14日	ビルクリーニング技能競技会群馬県大会	参加選手	16 名
6月 24日	ビルクリーニング技能競技会関東甲信越地区大会	参加選手	2 名
7月21・22日	特別支援学校ビルメンテナンススキル研修会前橋会場	参加者	44 名
7月26・27日	特別支援学校ビルメンテナンススキル研修会太田会場	参加者	13 名
8月 30日	ビルクリーニング学習指導高崎高等養護学校	参加者	20 名
10月 5日	第 11 回安全衛生大会 前橋テルサ	参加者	123 名
10月13・14日	ビルメンヒューマンフェア in 新潟	参加者	30 名
11月 1日	GBK 杯ゴルフ大会 桐生 CC	参加者	15 名
12月2・9日	ビルクリーニング学習指導太田高等養護学校	参加者	26 名

◆「要望書」平成 24 年度群馬県当初予算に対する重点要望事項

平成 23 年 10 月 3 日予算に対する当業界の要望をお願い致しました。

当業界もまた震災後の経営状況は一段と悪化し、更に雇用面においても、已むを得ず働く時間の短縮をはじめ、雇用打ち切りなど一段と厳しい状況下にあることを理解してもらいたい。そんな中我々業界に対する予算の削減は更に追い打ちをかけるものとなり業界全体が沈んでしまいかねないことを訴え、根本的に入札のあり方、方針の転換をお願い致しました。雇用の確保こそがいま求められている最大の課題であることを一層強くお願い致しました。

●入札についての要望

【1】総合評価制度の導入及び長期継続契約の更なる深更

我が業界は収益全体の 80%以上が従業員の給与、そして雇用保険、健康保険、厚生年金保険等の法定費といった人件費にまつわる費用が占める労働集約型の産業である。契約金額の下落は即働く者にしわ寄せされる。それを改善するにはただ金額のみの入札制度でなく総合評価項目を取り入れた制度に切り替えるべきである。また、毎年契約が変わる制度を複数年契約にしてもらいたいとの要望を提出した。骨子は以下の通り。

- ① 県内企業及び県知事登録業者の優先
- ② 県内企業の育成
- ③ 当協会の会員である群馬県ビルメンテナンス協同組合の積極的な活用

【2】契約内容の履行確保と不適格業者の排除

悪かろう安かろうという不適格業者から県内業者を守るために対策を講じてもらいたい。

●その他要望

【1】我々業界に対する予算の確保

【2】最低賃金の引き上げと実施時期の再考

【3】障がい者就労支援の理解

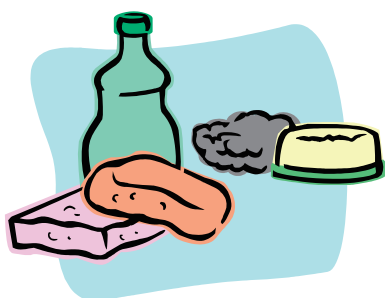
【4】指定管理者制度の熟慮

ビルメンヒューマンフェア 2011 in 新潟 に参加して

ケービックス(株) 堀越 貞行

ビルメンヒューマンフェア 2011 に参加し、多くの出展企業から今後の業務に活かすべき情報を得ることが出来ました。その中で、今回の参加の目的であった全国ビルクリーニング技能競技会を視察し、出場者のあらゆる動作に注目しました。動作においては、ダスタークロスの掛け方、ポリッシャー操作、コードさばき、バキューム操作、モップ拭き等、何度も繰り返し練習され、動作が機敏であり、全てにおいて魅了する動作でした。

また、競技大会の出場者は、それぞれの会社の代表であり、各々が所属する都道府県ビルメン協会支部の代表という中で誇りを持って競技をされていました。出場されている会社の方の応援も熱いものを感じました。出場するには個々の技能の優れた部分が重要ですが、会社の看板を背負って競技をする事で会社の知名度を上げる良い場所でもあると感じました。



私は群馬県ビルメンテナンス協会でビルクリ実技の講師をしておりますが、全国大会へ出場する為に指導レベルも上げていかなければ、全国レベルに達することは難しいと感じました。群馬県の各企業の代表として全国大会に出場する為、出場者の技術レベルを上げるとともに、指導においても優れたビルクリ技術者の育成とより多くのビルクリ資格取得者を増やし指導していきたいと思います。

今後において課題は多々ありますが、群馬県の各企業から全国ビルクリーニング技能競技会へ出場できるよう技術と質の高いビルクリーニングを追求していきたいと思います。



ビルメンヒューマンフェア 2011 in 新潟 総合資機材展に出展して

(株)グンビル 小池 次郎

2009年京都でのビルメンヒューマンフェア出展に続き、2011年10月13～14日に開催されたビルメンヒューマンフェア in 新潟に弊社の『床ワックス剥離廃液処理システム・ライブプロジェクト』を出展させて頂きました。京都で出展した際には、ビルメンテナンス会社に限らず資材販売会社様からも多くの問い合わせを頂き反響は予想以上のものでした。その後、群馬県への中間処理施設の許可申請については事前協議の終了通知を頂き、次いで「生活環境影響調査」の実施と結果報告がまとまり、11月4日、県に「廃棄物処理施設設置等実施計画書」を提出し、着実に進展しております。

また、京都での発表後、関西環境開発センター発行の『ビル管理の研究と開発』、続いて月刊『ビルクリーニング』に研究発表の機会を頂き、更に2011年1月には(財)ビル管理教育センター主催の第38回建築物環境衛生管理全国大会での研究発表及び全国ビルメンテナンス協会発行の『月刊ビルメンテナンス』2月号での特集、そして5月号への発表と、全国的な関心の高まりを実感いたしております。弊社の京都での発表後も各種メーカーより廃液の処理剤や処理機材の開発、発売が続き今回の展示会でも「汚水処理実演会」や処理機材の発表展示も見られ、ますます関心が高まってきていると思います。

弊社の展示内容は、剥離廃液の問題点と適正処理の必要性及び開発したライブプロジェクトの処理工程の概要でしたが、来場者の多くが処理用機材で安価な機械の開発を望んでおり、早く開発

してほしいとの強い期待のこたばを数多く頂戴いたしました。また、群馬県ビルメンテナンス協会の皆様にも多数お立ち寄りいただき、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

新潟市は、人口80万人を超える大都市で、展示会でも制服姿の地元ビルメン会社の方々が多く見学に来場されていたように思います。展示ブースでは立ち乗り式の自動洗浄機のパフォーマンスが目立っていましたが清掃ロボットも注目を集め、地元テレビでも放映され今後の動向が気になるところです。

環境指向の商品も多くなってきて『水ではなく離』とか『洗剤や酸を使わず少量の水で石材を鏡面復元・・・』等々新しい商品が出品されていました。弊社も早く中間処理業の許可が取得できるよう、更に開発に邁進しなければならないと決意を新たにした展示会でした。今後も中間処理業許可申請の進捗状況等はホームページでお知らせしていきたいと考えております。

ホームページ→ <http://www.gunbiru.co.jp>





平成 23 年度安全衛生大会を終えて

青年部副幹事 登丸 一雄

平成 23 年 10 月 5 日（水）前橋テルサにおいて第 11 回安全衛生大会が開催されました。平日の多忙な中、大勢の関係者様にご参加していただき、誠にありがとうございました。

昨年は 3 月 11 日 午後 2 時 46 分ごろ国内観測史上最大のマグニチュード 9.0 を記録する地震が東北地方太平洋沖で発生、それに伴う巨大な津波により東北地方を中心とする広い地域が被災しました。また、津波の影響により東京電力福島第一・第二原子力発電所において放射能漏れを伴う事故が発生、多くの方々が電力不足の影響により計画停電への対応を余儀なくされました。企業活動においては緩やかに回復基調であった景気の中での影響は大きく、各企業とも経営を取り巻く環境変化の対応に苦慮された事と思います。

本大会において、ご来賓の群馬県労働局労働基準部健康安全課長 小出保雄様からは、労災の発生状況について細かにご説明いただきました。その中で全業種とビルメンテナンス業との事故の型別労災状況や年齢別労働災害発生状況のご説明は、今後の日常作業を安全に行う為の危険因子分析に大変参考になりました。

続いて優良安全衛生管理担当者と安全衛生標語優秀作品の表彰が行われました。回を重ねる毎に応募総数も増え続けている事からも、会員皆様の安全衛生に対する高い意識を認識させて頂きました。表彰並びに入選された皆様、本当におめでとうございます。また、ヒヤリハット体験事例では、日々直面した業務からの発表内容となっており、今後の安全作業の実践に大変参考になりました。貴重な体験事例発表をありがとうございました。

特別講演として群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部診療放射線学科 倉石政彦先生より「放射線の影響について」をテーマとしてご講演をいただきました。東日本大震災での放射能漏れによる被害を身近に感じている時であり、皆様におかれては高い関心を持って聞いていただけたと感じております。

今年も労働対策委員会・青年部・事務局で協力し合い、より良い大会にしていきたいと思いますので、今後とも皆様のご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

優良安全衛生管理者表彰

オオラ美装(株)	栗田 吉久
ケービックス(株)	須藤 伸明
J R 高崎鉄道サービス(株)	浅見 博義
J R 高崎鉄道サービス(株)	小宮 日出夫
東朋産業(株)	中島 弘美



ヒヤリハット体験事例発表者

太平ビルサービス(株)	金田 貴士	「集中豪雨、その後の危険」
藤田テクノ(株)	大沢 正史	「電動工具が急に動き出しヒヤリ」

～安全衛生大会標語入選作品～



うまくやるより確実に

早くやるより安全に ゆとりをもって安全作業

テルウェル東日本(株) 馬場 麻衣子



その芽です 危険を摘み取る 確かな目

東洋ポリース(株) 森山 真由美

右ヨシ 左ヨシ 足元ヨシ ゼロ災目指し 気分よし

JR高崎鉄道サービス(株) 武笠 孝

安全とチームワークは職場のカナメ 全員参加で 無災害

ファースト・ファシリティーズ群馬(株) 古平 恵子

今さらと なめた心で 注意無視

オオラ美装(株) 森 修

ちょっと待て！！そのやり方で大丈夫 安全作業の自己点検

(株)ビル代行 群馬支店 重田 稲子

安全衛生大会 大会宣言

現在、我々を取り巻く経済環境は、緩やかに回復しつつある中発生した、先の東日本大震災、原発事故により非常に厳しい状況が続いております。その中で各企業は作業効率の向上・コスト削減を余儀なくされています。

我々ビルメンテナンス業界においても例外ではなく、受注環境の変化、低価格化により各企業の経営状況も一段と厳しさを増しております。

また労働者においても、労働環境の変化や多様化により、労働災害が年々増加傾向にあり、もう一方では仕事や職場環境に対する強い不安、悩み、ストレス等により精神障害を発症する事案が年々増加しており、社会問題にもなっております。

我々は、このような状況下においても、働く者の安全と健康を守ることが最優先であるとの認識のもと、労働災害につながる潜在的な危険を取り除く為に、リスクアセスメントの導入・実施、メンタルヘルス対策等職場における自立的な安全衛生活動の充実を協会組織を挙げて取り組んでいかなくてはならないと考えております。

本大会の開催を契機に、関係者一人一人が心を新たに、安全意識の向上と、「安心」「安全」「健康」「快適」に働ける職場環境の実現に向け、協会会員の英知と努力を結集し、全力で取り組むことを平成23年度安全衛生大会のもと、ここに宣言いたします。

平成 24 年
各委員会より

新春の所感

【平成 24 年も安全安心に】

労働対策委員会委員長 山田 実

新年を迎え、会員各社様におかれましては新たな希望に向け、日々精進しておられる事とお喜び申し上げます。

昨年におきまして、協会青年部の全面的なご支援の元で第 11 回の安全衛生大会を無事に挙げて頂きました。関係各位、会員各社様への感謝の念で一杯でございます。ありがとうございます。

さて、私達業界を取り巻く環境は年毎に厳しくなっております。世界的な経済低迷、価格偏重の受注環境、益々多くなる顧客要求事項など数えきれない程だと思います。しかしながら、安全や従業員の健康をおろそかにすることは決してできません、むしろ社会的な企業評価の重要項目として注目をされて来ているのが現状ではないでしょうか。県労働局の資料によれば、県内ビルメン業の労働災害件数は平成 20 年の 23 件を底に、以後は増加傾向で推移しております。そしてその 4 割が転倒となっており、墜落・転落を含めると、実に 7 割となってしまいます。尚且つ、その大半が 50 歳以上の中高齢者となっております。これは業界の特性上、仕方が無いと言ってしまっても良い状況ではありません。

対策委員会としても何とかしたいと思っておりますが、効果的な活動がすぐにはできなくて悩むばかりです。今年はその反省に立ち、前向きな活動を行いたいと思っており、私案としては、協会安全パトロールや安全研修会などを考えて行きたいと思っております。実際の実施段階では関係各位のご支援を仰ぐ事になろうかと思っておりますが、その節にはご支援を是非ともよろしくお願い申し上げます。安全、安心を業界の売りにできるように会員様の連携で頑張っていきたいと思います。

【新春に思う事】

厚生委員会 塚田 且美

新年明けましておめでとうございます。協会員、組合員の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。また協会、組合の行事にも積極的にご協力いただいておりますことに改めて御礼を申し上げます。

昨年は未曾有の大震災、脆弱な危機管理の原発事故で大変な 1 年となり未だに復興の目安も定まらず原発も安定には程遠い現状で不安が続く状況には変わりありませんが群馬のビルメン協会は会館も完成しこれらにめげる事無く勢いよく活動して行かなければと思います。

さて担当の厚生委員会ですがゴルフ大会、研修旅行等々、本来私自身率先してお手伝いしなければならないところ全て事務局任せで運営して頂いており大変恐縮しております。本年は諸行事（ゴルフ大会等）を通じ厚生委員会の目的であります会員皆様の親睦と健康維持に少しでもお役に立てればと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

【支援委員会の経過報告】

障がい者就労支援委員会委員長 吉澤 良正

障がい者支援委員会では社会貢献事業の一環として平成 20 年度に発足し今年で 4 年目に入りました。

発足時は見よう見真似で何をしたらいいか戸惑いと不安の中で出発しましたが、会員各社様のご協力により順調に進んでまいりました事に厚く御礼申し上げます。

さて昨年度の活動を振り返りますと、まず県教育委員会の要請による各支援学校の教職員指導を行いました。こちらは昨年で 3 回を数え参加者も年々増加する中、無事清掃指導を行うことができました。次に当委員会と致しましては、この研修会を基に各支援学校からの要請に応え、直接学校に出向き生徒への指導を行いました。実績と致しましては、高崎高等養護学校で 2 回程校舎内の清掃を指導し、太田高等養護学校では近くの公共施設 2 箇所での清掃指導を行い、各回共に養護学校の生徒はとて真剣に取り組んでくれました。このように教職員並びに生徒の取り組み方を見ると、各養護学校内に清掃に対する意識が浸透してきたものと推察されます。

また昨年の 2 月 6 日には第 8 回ぐんまアビリンピック大会が開催され、ビルクリーニング競技としては 2 回目の開催となりました。その中で 13 名の選手が出場し、前橋高等養護学校の生徒が金賞を受賞いたしました。

本年は全国アビリンピック大会が長野県で 10 月に開催予定となっておりますので、まずは平成 24 年 2 月 5 日（日）に開催される第 9 回ぐんまアビリンピック大会を無事終了させ、金賞を受賞された生徒が群馬県代表として全国大会で入賞できるよう指導を行う所存でございます。

本年も昨年同様に支援活動を予定しておりますので、会員各社様の何卒のご協力をよろしくお願い申し上げます。

【平成 24 年 公益法人改正対応特別委員会の抱負】

副会長 割田 信一

当協会では、新公益法人制度改革への対応について様々な角度から検討を行ってまいりました。こうしたなかで、昨年 8 月 3 日の理事会では一般法人への認可申請についてビルメン会館が竣工したばかりであり、経費等の支出が確定する平成 24 年 3 月を経てから行うとの決議がなされました。一般法人に認可申請することについて会員の皆様は既に承知しているところだと思いますが、今年度の諸経費の確定をみてから申請した方がより正確なデータが把握できベターだということでもあります。その結果、本年はいよいよ一般法人への認可申請の年であり、申請時期は通常総会後の 5 月中となります。

当協会の公益法人改正対応特別委員会としては、一般法人への認可申請時期が本年 5 月の通常総会後になるにあたり、今後の展望について考えてみることにしました。

新公益法人制度改革は、一般法人であれ、公益法人であれ、従来の制度の変更ということではなく「新しい法人」に生まれ変わることであります。協会は何を考え、どうしたらよいのか、その方向性は、ということになります。そのキーワードは障害者対策と環境対策にあると思います。

障害者対策については既に当協会として就労支援の事業を行っていますが、就労支援から雇用支援へとさらに発展させていく必要があります。協会や会員同士が共同で障害者対策を行うことは社会のなかで極めて重要な活動となっています。

環境問題では、群馬県が一人当たりのゴミの排出量ワースト 2 であります。当協会では群馬県主催の「地域ボランティア・清掃奉仕活動」に毎年積極的に参加しています。これは当協会の青年部が中心となってまとめていただいているからであり、青年部の活躍は大であります。協会として群馬県に働きかけてゴミの排出量が全国 2 番目に多い県からゴミの排出量が少ない県になるような提案をしていくことも重要です。

また、環境問題では省エネへの取組みがあります。今後その重要性が高まるなかで省エネに向けたエネルギー源設備の効率的な管理を構築し社会に発信していく必要があります。

昨年の東日本大震災から 1 年になろうとしています。私たちが考えていかなければならないのはいつの時代でも安全・安心ということでもあります。群馬県ビルメンメンテナンス協会が常に「人に安全・安心か」「環境に安全・安心か」を考え事業を行うことが「新しい法人」に生まれ変わったことになるのではないのでしょうか。

一般法人への認可申請を行いますと「公益法人改正対応特別委員会」の活動は一段落いたします。会員皆様のご支援、ご協力に感謝するとともに、当協会員相互の絆を大切に本年が幸せいっぱい的一年でありますように祈念いたします

【清掃部会の抱負】

研修委員会清掃部会部会長 関口 康二

毎年、清掃部会による各種講習会では会員企業の協力により優れた人材の講師派遣をいただきありがとうございます。おかげさまで講習会や運営では高い水準で保つことができています。改めて講師等の派遣を頂いた会員企業それに講師の皆様には感謝すると共にさらなるご協力とご支援をお願い申し上げます。

近年、我々業界における状況は官公庁・民間を問わずローコスト・ハイクオリティーといった厳しさと、人件費の上昇分における価格転化も難しい状況となっています。この難局に対して清掃部会の活動では「建築物衛生法」を遵守しサービスと品質向上(インスペクション)の実施や各種専門教育・訓練や国家資格取得を目指すとともに業界の資質の向上を図り、会員企業のさらなるレベルアップに役立つ活動に取組んでまいります。今年も清掃部会ではビルメンメンテナンスに関する技術や知識、そしてサービスの向上につながる活動や支援を一所懸命行なってまいります。本年もよろしくお願い致します。

【2012 年の設備部会運営について】

研修委員会設備部会部会長 古澤 信重

当設備部会は数名で運営している部会です。

毎年、部会において、運営目標が決められ、それに則って設備研修会を実施しております。

しかしながら、昨今では部会員が多忙だったり、参加者が少なかったり、テーマとなる研修に関わる適任講師が揃わなかったりと、等閑な運営となっており、反省及び課題材料となっています。

今までは、専門的な研修を目標としておりましたが、2012 年は設備関係者のみならず、ビルメンメンテナンス業に携わる事務職、営業職も対象とした方々向けに、自分たちが働いている業種ではどのような設備があり、どのような方法により設備管理をしているかを認識してもらえるような研修会を開催したいと思います。

具体的には環境測定項目や、水質基準といったものから電気の配線等に係わるものまで幅広く考えたいと思います。

末尾に、設備部会は会員数が少なく、運営も大変です。是非各社からの人材をお待ちしております。

【平成 24 年研修委員会積算部会の抱負】

研修委員会積算部会部会長 田中 勝利

新年明けましておめでとうございます。旧年中は各会員様並びに事務局の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

積算部会では例年、積算見積研修会を行って参りました。一定品質を提供する上での適正価格の提案を行い、お客様の理解を得ることと、品質・価格共に満足を得ることを目標に、積算・見積研修会により情報・知識を提供して参りました。

ビルメンテナンス業界の販売価格は年々低下しており大変厳しい状況にあると思われます。反面、清掃メンテナンスの新技术新商品の発展、施設の省エネへの取組み等により、お客様がビルメンテナンスに求めていることは多々あると感じられます。

新たなビルメンテナンスの提案によりビジネスチャンスを逃すことなく、コストパフォーマンスの高いメンテナンスを提供することにより、お客様に満足していただく為に、積算部会では情報の提供に取組んで参りたいと考えます。

各会員様がビジネスチャンスを得るために少しでも役立てればと思います。

本年も昨年同様よろしくお願い致します。

【青年部会の抱負】

青年部部会長 武井 信浩

青年部が発足して、11 年目となりました。発足当時は、部員数は少なく活動するにも始めての事ばかりで、大変ご苦労されたことと思います。現在は青年部員数も増員し協会行事の支援または幹事部会として役割を果たせるようになってきました。現在の部員数は、推薦企業様 13 社 14 名で構成しており、部員を推薦していただいた企業様または選出された部員の皆様の積極的な協力で常に運営を盛り上げていただき、大変感謝しお礼申し上げます。

平成 23 年度の活動について、6 月 5 日県主催の「春の環境美化運動」に協会として参加するため責任者（青年部全員）として清掃作業実施、10 月 5 日の「第 11 回群馬県ビルメンテナンス協会安全衛生大会」開催に青年部全員で協力をさせていただき、滞りなく実施することが出来ました。

平成 24 年度についても一層各委員会または部会と連携を密にし、会員企業様のお役に立てるような活動となるように意識し実施していきますので、各行事への参加などご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【協同組合の支援事業とあり方】

群馬県ビルメンテナンス協同組合専務理事 品川 廣幸

協同組合の運転は協会との両輪になり前へ進むことであります。協会が研修・講習・技能講習などの事業が展開されています。（勿論、事業を行っていく上での数々の問題が発生した場合、その課題も取り組み、継続してビルメン協会として取り組んでいかねばなりません）協同組合の目的は受注事業と新しい商品づくりであります。ビルメン業界がどの部門に参入し生きていくかの問題等も研究しておかねばならないと思っております。これは両者が考えていく問題かもしれません。その意味で協同組合は数年前より指定管理者制度に活路を見出したのも新規商品の開発の一環だと思えます。最近では承知の通り入札物件の減少、一般競争入札制度への大きな変更が現実味を帯びてきたとき、どのような生き残りが考えられるか、また協同組合としてどう対応していったらよいか課題が次から次へと突き付けられます。

また、業界のあり方、課題の研究は同時に考えていかねばならないことであり、協会の枠より少し大きな輪で考えた時、協同組合は政治、経済などを広く捉えて追求していかねばならないと思えます。我が業界だけで議論しても解決できない事象があります。そんなとき協同組合はマクロ的に考えられる団体と思えます。会員各社がどんな業務にも、優れている事は良い事ですが、会員各社の得意業務をそれぞれが活かし、一つの物件を協同組合で受注し、広く会員各社に幾分なりとも仕事をしていただく事ができるようにしていくことも協同組合の役目です。

協会事業の支援を行い、協同組合の本来の目的をも達成していけるように、協同組合は情報を収集し、各界に皆さんと折衝し、内部的には会員各位と常に意見の交換を行い、目的達成をしたいと考えております。

謹賀新年

2012年



【会員企業】



オオラ美装(株)

代表取締役 岡田 勇一

〒370-0616
 伊勢郡邑楽町光善寺四五〇一七
 TEL〇二七六一八八〇二二六
 FAX〇二七六一八八〇二二六

伊藤ビル管理(有)

代表取締役 伊藤 東一郎

〒374-0132
 邑楽郡板倉町大字板倉一七六三一
 TEL〇二七六一八二〇五六八
 FAX〇二七六一八二〇三三〇〇

アックスボード(株)北関東支店

代表取締役 高石 時夫

〒372-0015
 伊勢崎市鹿島町五二二一七
 TEL〇二七〇一〇一〇七四四
 FAX〇二七〇一〇二六四二二五

(株)グンビル

代表取締役 高野 健

〒372-0039
 伊勢崎市ひろせ町四〇八八一二
 TEL〇二七〇一三三二二二四
 FAX〇二七〇一三三二二二四

群馬中央ビルサービス(株)

代表取締役 島岡 秀文

〒379-0112
 安中市岩井五九八一
 TEL〇二七〇一三三二二二四
 FAX〇二七〇一三三二二二四

協同整美(有)

代表取締役 田中 賢司

〒370-0862
 高崎市片岡町一丁目一〇一三
 TEL〇二七〇一三三二二二四
 FAX〇二七〇一三三二二二四

(株)環境保全センター

代表取締役 塚田 且美

〒370-0884
 高崎市八幡町九四六一四
 TEL〇二七〇一三八二〇八八一
 FAX〇二七〇一三八二〇九七七

(株)新日本クリーン

代表取締役 大嶋 秀樹

〒371-0846
 前橋市元総社町一〇一八一四
 TEL〇二七〇二五三二四八三二
 FAX〇二七〇二五三二四八三二

(株)シムックス

取締役社長 深澤 利弘

〒373-0812
 太田市東長岡町一〇二二二一
 TEL〇二七六一二〇二二〇〇三
 FAX〇二七六一二〇二二〇〇四

(株)壽総業

代表取締役 鈴木 龍之助

〒377-0005
 渋川市有馬二六七六一
 TEL〇二七九二二二二二二二
 FAX〇二七九二二二二二二二

ケービックス(株)

代表取締役社長 井上 哲孝

〒371-0855
 前橋市問屋町一〇三三一
 TEL〇二七二二五三二二二二
 FAX〇二七二二五三二二二二

太陽ビルサービス(株)

代表取締役 千木良 毅

〒371-0018
前橋市三俣町一丁目四十一
TEL〇二七二二七三三三〇
FAX〇二七二二七三三三〇

東朋産業(株)

代表取締役 村田茂行

〒371-0858
前橋市総社町坂が丘一丁目二五二
TEL〇二七二二五三一八二六〇
FAX〇二七二二五三一八二八四

日本ビル・メンテナンス(株)北関東支店

支店長 金井益雄

〒370-0841
高崎市栄町一丁目四一五 内堀ビル3F
TEL〇二七二二七三二七九五七〇
FAX〇二七二二七三二七九四九〇

ファースト・ファシリティーズ群馬(株)

代表取締役社長 大寶 啓彰

〒371-0843
前橋市新前橋町一丁目三三三
TEL〇二七二二五四二四〇〇
FAX〇二七二二五四二二七七

太平ビルサービス(株)前橋支店

支店長 吉澤良正

〒371-0846
前橋市元総社町二丁目八十一
TEL〇二七二二五二二〇九五
FAX〇二七二二五二二五五四

東京ワックス(株)群馬営業所

代表取締役 古郡公恵

〒373-0033
太田市西本町六一六
TEL〇四八八五七三一三二六
FAX〇四八八五七一三三八六

中西工業(株)

代表取締役 中西保

〒372-0823
伊勢崎市今井町七三二一
TEL〇二七〇二五二五九〇〇
FAX〇二七〇二五二五九六九

(株)ビル・メン

代表取締役 高橋弘史

〒376-0034
桐生市東四一九一六
TEL〇二七七四四一三三八一
FAX〇二七七四四一三三九一

上毛資源(株)

代表取締役 佐伯一

〒371-0857
前橋市高井町一丁目三三四
TEL〇二七二二五二二〇九五
FAX〇二七二二五二二五五四

(有)トータルワークサービス

代表取締役 増田明男

〒379-0127
安中市磯部三丁目六一〇
TEL〇二七三三八五五五八八
FAX〇二七三三八五五五九七

東洋ポリーズ(株)

代表取締役社長 福田雅之

〒376-0021
桐生市巴町二丁目八一
TEL〇二七七四四一四四一四
FAX〇二七七四四一四四六一

(株)ビル代行 群馬支店

支店長 徳江隆幸

〒371-0024
前橋市長町二丁目九分治安田生命前橋ビル7F
TEL〇二七七二二二二二八八
FAX〇二七七二二二二二九九

JR高崎鉄道サービス(株)

代表取締役 湯本典文

〒370-0846
高崎市下和田町五丁目三二二
TEL〇二七三三三三三三三三
FAX〇二七三三三三三三三三

テルウェル東日本(株)群馬支店

支店長 原田士郎

〒370-0829
高崎市高松町一三
TEL〇二七三三三三三三三三
FAX〇二七三三三三三三三三

(株)東毛ビルサービス

代表取締役 川島正夫

〒374-0033
館林市堀工町一〇九五二
TEL〇二七六二七五二六六五〇
FAX〇二七六二七五二六六二七

(株)ニューサンライフ

代表取締役 植木信行

〒371-0831
前橋市小相木町二七六一
TEL〇二七一二〇一八五八〇
FAX〇二七一二〇一八五八八

大和メンテナンス(株)

代表取締役社長
富澤 敏明

〒371-0844
前橋市古市町三四六
TEL027-2901-1854
FAX027-2901-1889

関東ケミカ(株)

代表取締役
設楽 勝美

〒370-0002
高崎市日高町四二二三
TEL027-361-1854
FAX027-361-6525

三洋商事(株)

代表取締役社長
都丸 聡

〒371-0845
前橋市鳥羽町三四一
TEL027-2531-2150
FAX027-251-1856

(株)リンレイ

代表取締役社長
鈴木 信也

〒104-0061
東京都中央区銀座四一〇一三
TEL03-3543-1281
FAX03-3546-0384

マルイ暖冷(株)

代表取締役
根岸 泉

〒372-0014
伊勢崎市昭和町三六七一一七
TEL027-261-2023
FAX027-261-0034

イカリ消毒前橋(株)

代表取締役
喜楽 賢一

〒371-0055
前橋市北代田町六〇六一二
TEL027-233-3540
FAX027-233-3541

コニシ(株)東京本社

代表取締役社長
大丸 智夫

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町二丁目三竹橋スクエア
TEL03-5259-1571
FAX03-5259-1577

ペンギンワックス(株)

代表取締役
藤本 公祥

〒537-0021
大阪市東成区東中本三一〇一四
TEL06-6973-9131
FAX06-6976-1456

平成警備(株)

代表取締役
井田 國譽

〒372-0801
伊勢崎市宮子町三二〇九一三
TEL027-211-0837
FAX027-211-5007

(株)GUNSHO

代表取締役
岩井 俊次

〒372-0801
伊勢崎市宮子町三五五一七
TEL027-211-026
FAX027-211-6111

デイバーシー(株)

代表取締役社長
山中 信義

〒231-0023
横浜市中区山下町二SSKビル
TEL045-640-1204
FAX045-640-1209

藤田テクノ(株)

代表取締役
藤田 実

〒370-0069
高崎市飯塚町一一七四一五
TEL027-361-1811
FAX027-361-3686

北関東衛材(株)

代表取締役
村上 靖雄

〒376-0011
桐生市相生町三一五一八二
TEL027-531-279
FAX027-531-283

(有)上毛ビルサービス

代表取締役
中澤 孝之

〒378-0035
沼田市井土上町六七二二
TEL027-812-1095
FAX027-812-1466



【賛助会員】

群馬県ビルメンテナンス会館会議室使用料

(単位 円)

	室名	基本料金				
		9時～12時	13時～17時	18時～21時	9時～17時	9時～21時
平日	研修室全面	7,000	7,000	7,000	14,000	21,000
	研修室片面	4,000	4,000	4,000	7,000	10,500
土日祝	研修室全面	9,000	9,000	9,000	16,000	23,000
	研修室片面	6,000	6,000	6,000	9,000	12,500
	会員使用料 金冷暖込み	半額	半額	半額	半額	半額

使用上の留意事項もございますので、あらかじめ電話またはご来館の上で相談下さい。

・お問い合わせは(社)群馬県ビルメンテナンス協会 事務局 電話 027 (288) 0551

●お知らせ

【移転しました】

(株)ニューサンライフ 〒371-0831 群馬県前橋市小相木町 276-1
TEL:027-210-8580 FAX:027-210-8588

【代表者が変わりました】

(株)ビル・メン 代表取締役社長 高橋弘史

【2月の予定】

2月 5日	アビリンピック群馬県大会	雇用・能力開発機構群馬センター
2月 17日	貯水槽清掃作業従事者研修会	前橋商工会議所
2月 17日	防除作業従事者研修会	前橋商工会議所
2月 24日	平成23年度臨時総会	群馬県ビルメンテナンス会館

編集後記

巨人の功罪はあるが、政治にもとめたい
ある作家が「どんな部門、業界にも巨人は存在する。そして偉大な人物には功罪がつきまとう。功とはすなわち、世の中の価値観を一変させるほどの圧倒的な輝きで人々を魅了し酔わせてくれる。その存在は、はるかな嶺の高みにあり、同じ道を目指すものの励みになる。一方、罪(ざい)だが、これは築かれた世界観があまりに強烈すぎるために、あとに続く次世代の人間がそこから抜け出せず、何をやっても最後には大先達の亜流になってしまう。」という。罪はともかく、今の政治に巨人は出てこないのか。苦難を乗り越える巨人を求めたい。(事務局長 品川)

表紙の説明

雄大で清々しい赤城山と人々の
温もり溢れる街並みや田園を描いた大作です。よく晴れた空の明るい日差しと爽やかな群馬の風が伝わってくるようです。群馬県の象徴である県庁が赤城山に並び、赤城山もまるで人々の生活を見守っているように優しく温かい姿が描かれています。

発行／社団法人 群馬県ビルメンテナンス協会

〒371-0856 群馬県前橋市問屋町 1-8-6
TEL:027-288-0551 FAX:027-288-0550
URL <http://gunma-bma.or.jp/>

編集／広報担当 井上哲孝、武井信浩、山口吉典、佐藤裕二、天田文江
印刷所／株式会社 ビーハーフ